

イラスト・丸山誠司

一緒に成長できる地域子育て支援の実際

NPO法人せたがや子育てネット 代表理事松田妙子

松田妙子 自己紹介

★渋谷区育ち。工務店を営む母方の祖父母と同居。
民生委員だった祖母の「まちのよろず相談」の現場を
見て育つ。**身近な場でのよろず相談。**

★青年館で活動。代々木公園でイベント開催
「大人も子どもも放課後が大事！」

★こどもの城で「人と関わって遊ぶ」部署で働く。
「地域で一緒に育つ・一緒に育てる」

★1998年夫の転勤先の三重県津市で
第1子5ヶ月の時、ママの部室「赤ちゃんサロン」開催。
「あいま通信」発行。**当事者主体の活動の化学反応**

★2001年世田谷で産後家庭にアウトリーチ(家事援助)と、無認可保育園の一室で常設の居場所開始。
県レベルの自治体のため、一つの団体・場所だけではダメ！**ネットワークが必要！**と考える。

★ダブルケアを経験。
5年間で3人を看取り、遠方の義実家を片付ける。



2022年NPO法人せたがや子育てネット 主な実施事業



● 区民版子ども子育て会議 & ティーンエイジ会議



● 地域子育て支援コーディネーター (利用者支援基本型子育て世代包括支援センター)

身近な場所で
予防的な
相談事業・資源開発

中間支援センター

烏山・玉川



● おでかけひろば【4カ所】 (地域子育て支援拠点事業) 区内団体と実践交流・ネットワークを構築しつつ運営

ぶりっじ@roka
(南烏山)
まーぶる (瀬田)
すぷーん (深沢)
おりーぶ (奥沢)



● せたがやこどもフードパントリー

2020年4月14日からスタート。2022年12月末までに129日間323回の活動を通じてのべ約24500食を提供。



● 赤ちゃんをつれて学校へ行こう!

区立中学校3年家庭科、都立高校定時制へ地域の1歳までの赤ちゃんとその家族と共に訪問
「ティーンエイジャーに赤ちゃんを抱っこする体験をプレゼント」



● 地域共生社会にむけての 多分野との連携・中間支援

- * 生活サポートNPO等協議会
- * せたがや防災NPOアクション
- * 外あそびプロジェクト・せたがや

● 人材育成

- * ファミリーサポートセンター アドバイザー研修
- * フォスタリング機関 里親研修
- * 世田谷区ほっとステイ従事者研修 (保育サポーター養成)

● 産前産後のセルフケア講座

対象：妊婦と産後5か月未満の産婦
内容：赤ちゃんの抱っこ、ストレッチ等の講習、あわせて地域の情報を提供し、身近な場所での相談につなぐ

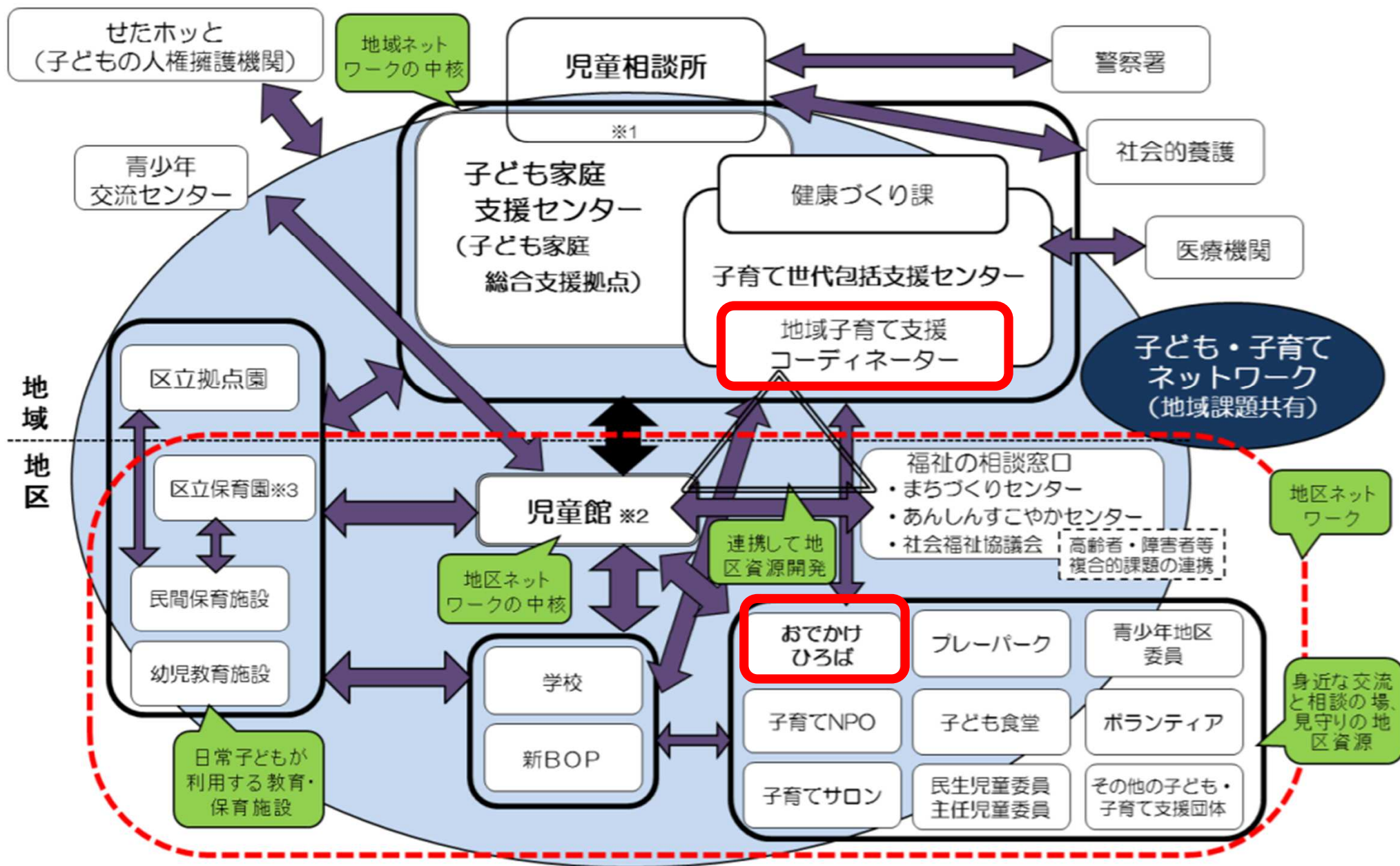


● 情報提供

- * メルマガ耳寄り情報
- * 多胎児むけメルマガ
- * LINE@等各種SNS
- * FMせたがや情報提供番組

● スポーツ財団主催講座託児

■ 子ども・子育てにかかる相談支援・見守りのネットワーク図 ■



未就園児のいる家庭への支援の現状

産後期の家事・育児支援

〈高齢者：ホームヘルプ〉

- 子ども・子育て新制度の対象事業外(制度化されていない)
- 市町村独自事業としても、63.5%の市町村で、ヘルパーを派遣する制度が存在していない

※ 2020年三菱UFJリサーチ&コンサルティング調査

一時預かり

〈高齢者：デイサービス〉

- 事業計画の目標
1,134万日に比べて実績が半分以下(521万日、2019年度)
- 未就園児1人あたりにすると年に3日程度

※ 幼稚園の預かり保育を除く

※ 実際には定期的な利用が多く、ほとんどの人には利用可能なサービスになっていない

ショートステイ

〈高齢者：ショートステイ〉

- 事業計画の目標
15.6万日に比べて実績が半分程度(8.8万日、2019年度)

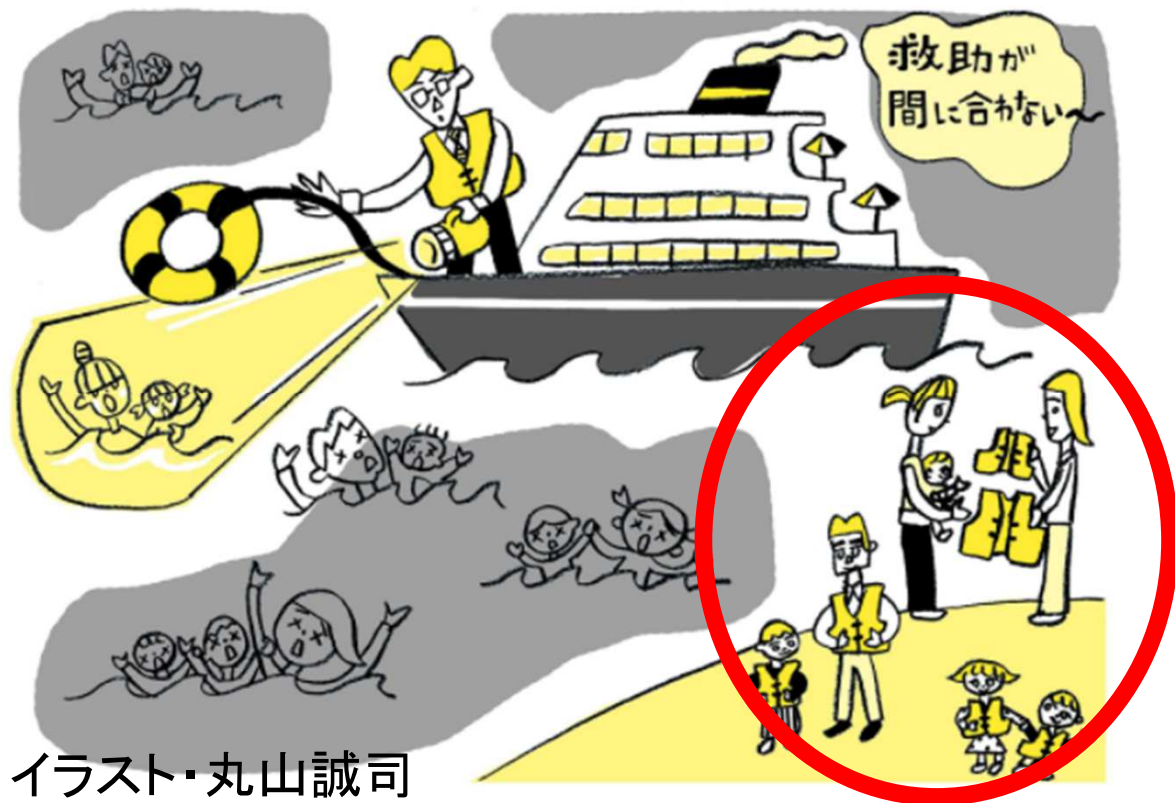
○ 介護保険どころかゴールドプラン以前の高齢者介護のような状態

行政による配給制度(措置制度)によるサービス提供が続いていて、ニーズが顕在化せず、存在しないことにされてしまっている

○ 潜在的なニーズは増大している

養育困難家庭に対する養育支援訪問事業は、事業計画の目標値(15.6万人日)を超える18.5万人日の実績

「いまある支援」と「広く深い予防」をもっと！



困ってから
救命浮き輪を
投げる社会ではなく
すべてのの人に
ライフジャケット
が配られている
安心の社会

子どもがいきいきわくわく育つまち=子どもが権利の主体

⇒こどもコミッショナー制度・こどもオンブズ

身近な地域での日常的な寄り添いと惜しみないサポート

⇒すべての3歳未満の家庭に対する**予防型現物給付**

あなたがそのままの姿でいられる場所

支援の受け手も支え手になれる場所。「自分にも役割がある」

概要版

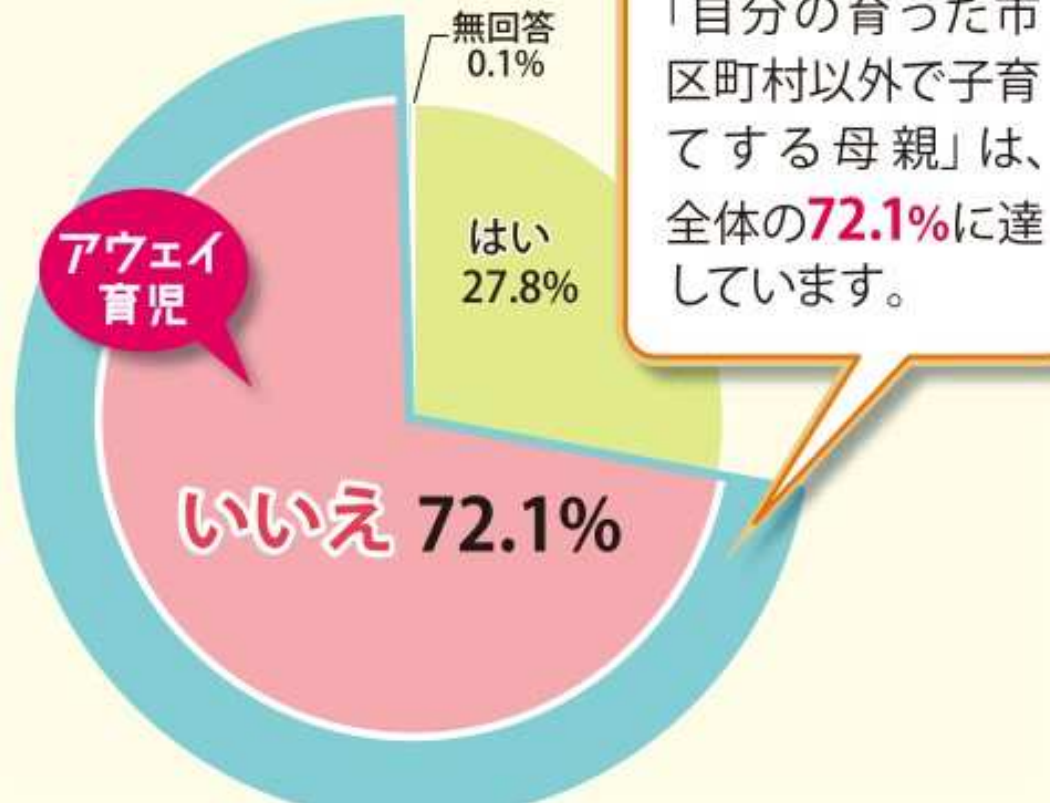
地域子育て支援拠点を
利用する母親
1,175人に聞きました!

自分の育った市区町村以外での子育て

「アウェイ育児」**72%**

「つながり」をつくり、アウェイをホームに変える
地域子育て支援拠点には大きな力がありました!

Q. あなたが育った市区町村で、現在子育てを
していますか?



そのまちになじみ
がない親のもとで
育っても、子どもに
ってはふるさとに

虐待“予防”をどうとらえるか

- **再発防止**
(児童相談所)
- **早期発見** → 要保護児童対策地域協議会
(子ども家庭支援センター)
- **発生予防** → 地域の子育て支援
(地域子育て支援拠点・利用者支援事業基本型)

東京都世田谷区

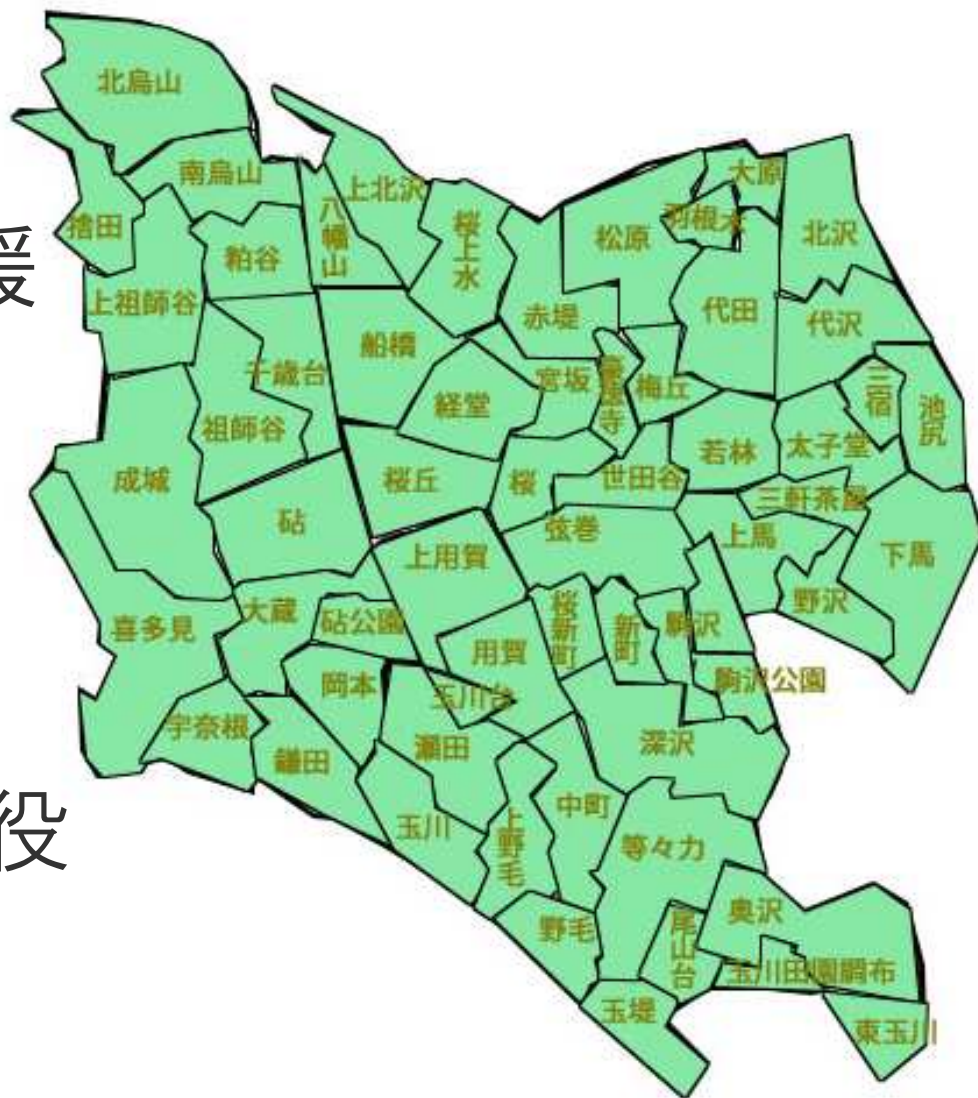
人口92万人 出生数:約6800人/年

★新生児期の訪問50%は
フォローケース

★一時保護95%は在宅支援

→支えるための身近な地域
での支援メニュー

→地区ごとにインフォーマル
な支援とおせっかいな世話役
(節度ある介入)が必要



世田谷区おでかけひろば

(デイサービス:地域子育て支援拠点事業)

あたたかく迎え入れる。「ケ」の日常を紡ぎだすプラットフォーム。歩いて15分以内を目指す



子どもにとって多様な人たちとの関わりと安心の場所

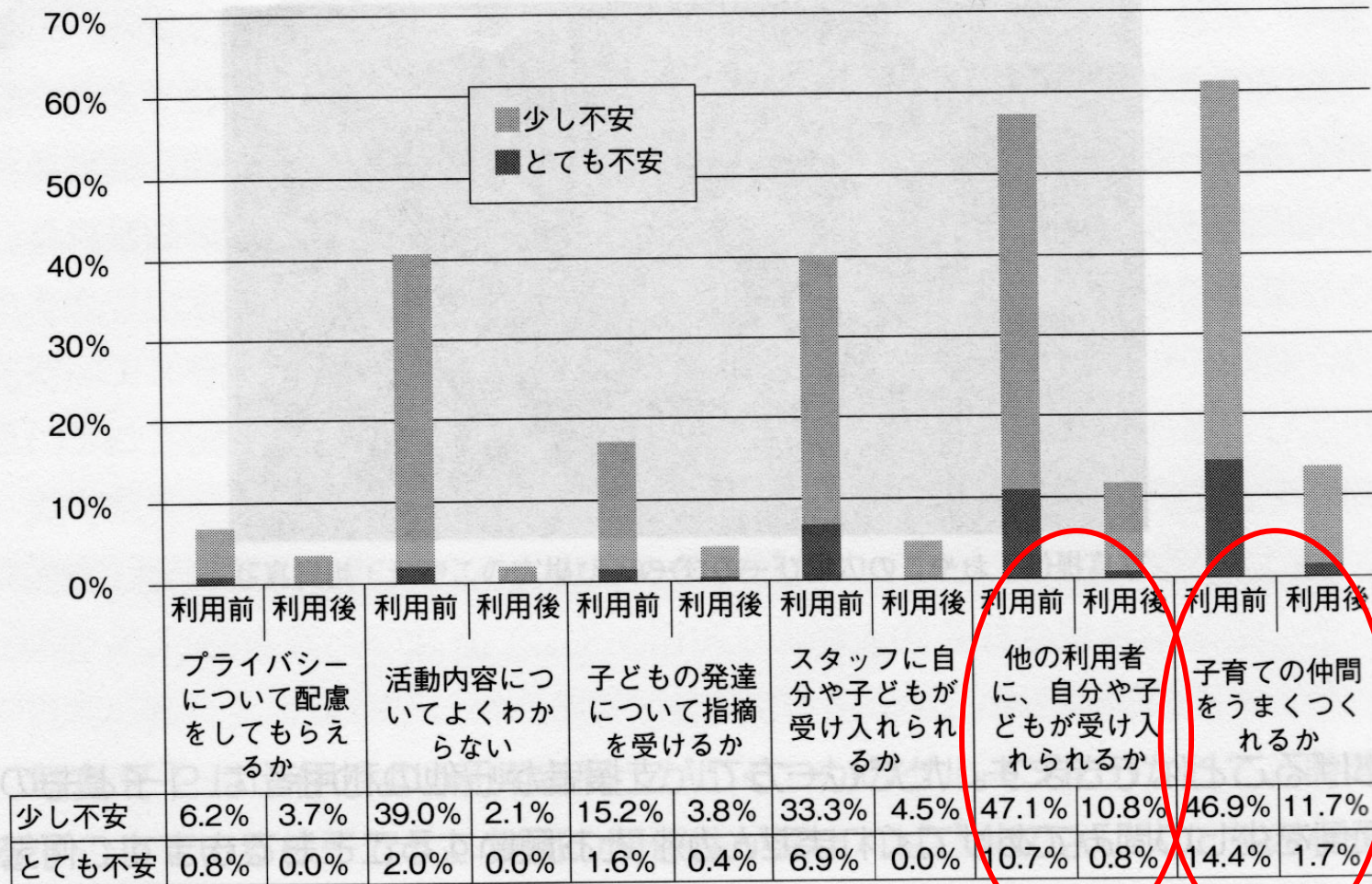
直接かかわるスタッフが深く地域と子育て家庭を理解していることが、とてもとても大事。
身近な地域にたくさんあること。



水平対等な関係
保護者? ボランティア?
スタッフ? ごちゃませ
循環型の支援

地域子育て支援拠点の利用の際に感じた不安

図 2-10 地域子育て支援拠点の利用の際に感じた不安



注：表中の数値は%.

ハッピーセパレーション(ほっとステイ) (ショートステイ:理由を問わない一時預かり)



自身が見えていないニーズ
「子どもといるのがしんどい」

「ちょっと休みたい」

リフレッシュというより**レスパイト!**

実家のように

「いつでも、安心して」

「三枚のおふだ」として

子どもの最大の環境は保護者
→当事者がしてほしいことを入り口
につながいをつくる

「満たされた」気持ちになるまで根気よく。「足りなさ」は人それぞれ
「ごめんね」から「いい時間をありがとう」へ
一時預かりという**サービス**ではなく、**コンセプト**を伝える。

ツインズプラスサポート(産後ヘルパー) (ホームヘルプ:子育て分野は国では制度外)

2001年からの実践 産後のおうちにご飯をつくり

- 妊娠中に作戦会議。
- 生まれました、と「地域」に帰ってきてね。待ってるよ。
- おめでとう！と、近所の人々がすぐに手伝いにきてくれる。
- 正しさ、ではなく、いい塩梅を一緒にみつけよう。
- 着替えもパジャマで！産後を大事に過ごしてね
- 具たくさんあたたかい味噌汁
- サービスではなくてピアサポート
- 赤ちゃんの声をききながらつくっていく「暮らし」
- 地域にひらかれた家族

あったらいいな、はこんなにもシンプルでつましいことですが
気持ちよく手助けすることも、受け取ることも、
とてもむずかしい世の中になっています。

プロテクト
要因になろう



令和4年8月

～3歳未満の多胎児を育てるご家庭へ～
ツインズプラスサポートの申請手続きのご案内

世田谷区では、多胎児を育てるご家庭にヘルパーが訪問し、家事や育児などのお手伝いをする事業を実施しています。この度、**対象年齢を【3歳未満まで】※に拡大いたしました。**
(※令和4年4月1日時点で3歳未満の方が対象です)

◆対象となる家庭
世田谷区に住居登録があり、
多胎児を妊娠中(妊娠届出をした方)～出産後**3歳未満**の多胎児を育てるご家庭

◆サポートの内容

できること	できないこと
① 日常的な家事援助 → (掃除、洗濯、買物、離乳食づくり、調理 など) ② 育児補助 → (沐浴介助、授乳及び離乳食介助、オムツ交換、 だっこ及びあやし、きょうだいの育児補助 など) ③ 同行支援 → (通院、病院の入退院、買物、きょうだいの学校行事、 幼稚園・保育園の送迎の同行 など) ④ 育児等に関する相談	・大掃除 ・家具の移動 ・庭の草取り ・植木の剪定 ・ペットの世話 ・塾や習い事など私的な用事 の送迎 など

地域子育て支援コーディネーター(子育て世代包括支援センター) (ケアマネージャー:利用者支援事業基本型)

★予防的に関わる(拠点で会える)

軽微なことでも相談し慣れてもらう

課題を切り取ると辺境化する

くありのままに地域で包摂される

★なかったらつくる!

小さな、パーソナルなものから。

資源の開発は当事者参画で。

★当事者へのありがたいのシーンを増やす

地域でありがたいと言える場をつくりだす。

支援する/される関係からの脱出



相談窓口 無料

ひろば型 地域子育て支援コーディネーター
のいるところ

【世田谷地域】	070-2150-5543
古民家 mamas@世田谷1丁目 (世田谷1-11-18)	
【北沢地域】	070-6969-3562
おでかけひろば @あみーこ (松原4-2-18)	
【玉川地域】	070-3356-3939
おでかけひろば まーぶる (瀬田2-25-10)	
【砧地域】	070-1314-2452
おでかけひろば きぬたまの家 (砧1-19-1-101)	
【島山地域】	070-6478-8895
おでかけひろば ぶりっじ @roka (南島山2-30-11 UR芦花公園団地11号棟1階)	

世田谷区 子ども・若者部 子ども家庭課

世田谷区地域子育て支援コーディネーター

妊娠中から乳幼児のいる家庭の子育て相談

なんだか
モヤモヤする...

子育て、てんてこまい!
どうしたらいい?

どんなことでも大丈夫。まずはお電話・メールをください!

■中間支援センター: 宮坂2-21-1 Nハウス経営 (全地域の窓口)

電話 070-5011-5270 (月曜~金曜 10時~15時)

■メールでの相談

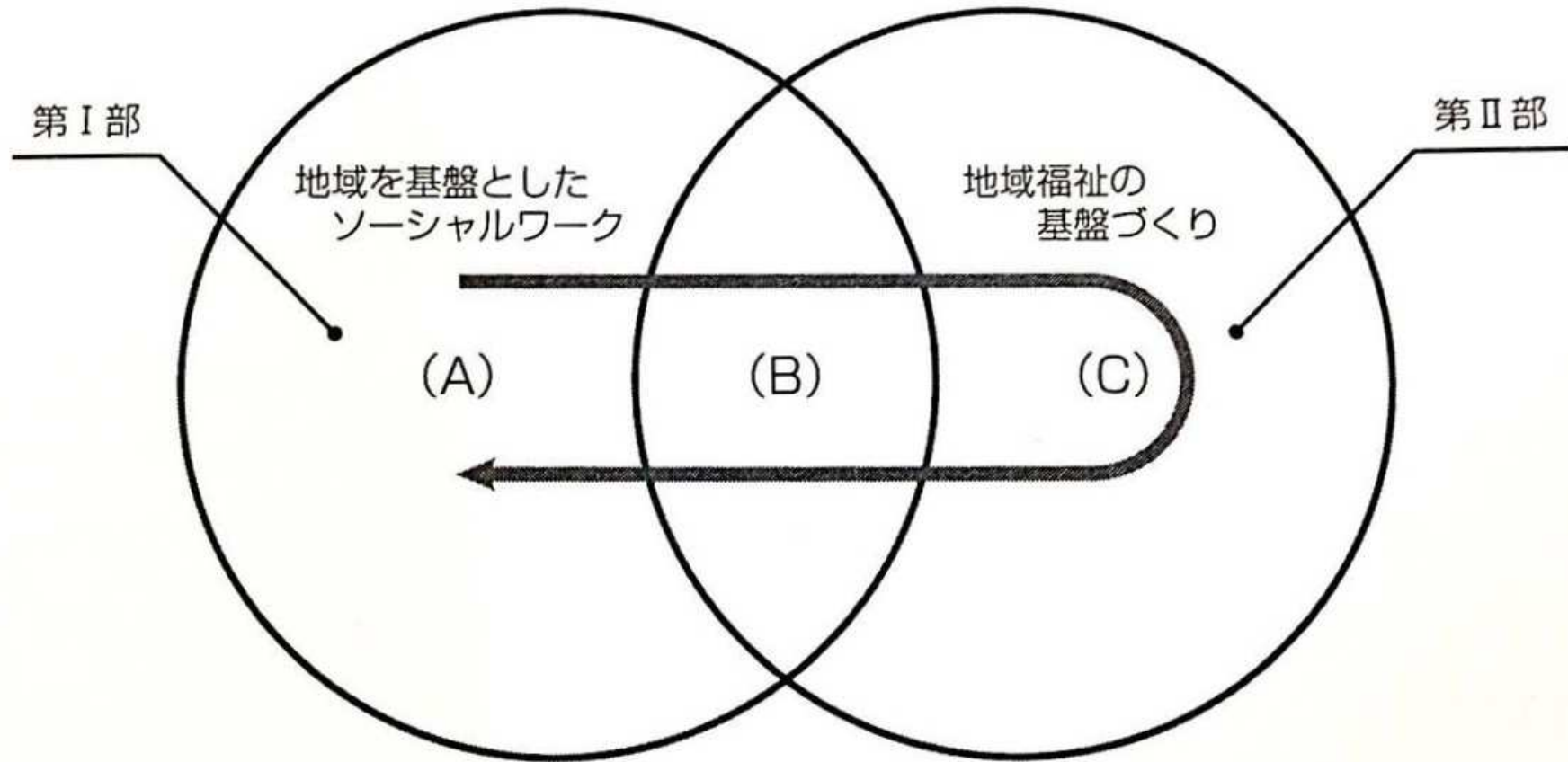
shien@setagaya-kosodate.net



QRコードでメールアドレス

個と地域の一体的な支援

図0-2 「地域を基盤としたソーシャルワーク」と「地域福祉の基盤づくり」の位置づけ



- (A) 個を地域で支える援助
- (B) 個を支える地域をつくる援助
- (C) 地域福祉の基盤づくり

区民版子ども子育て会議

計画策定と並行して市民の対話の場をつくろう

始まって
から8年

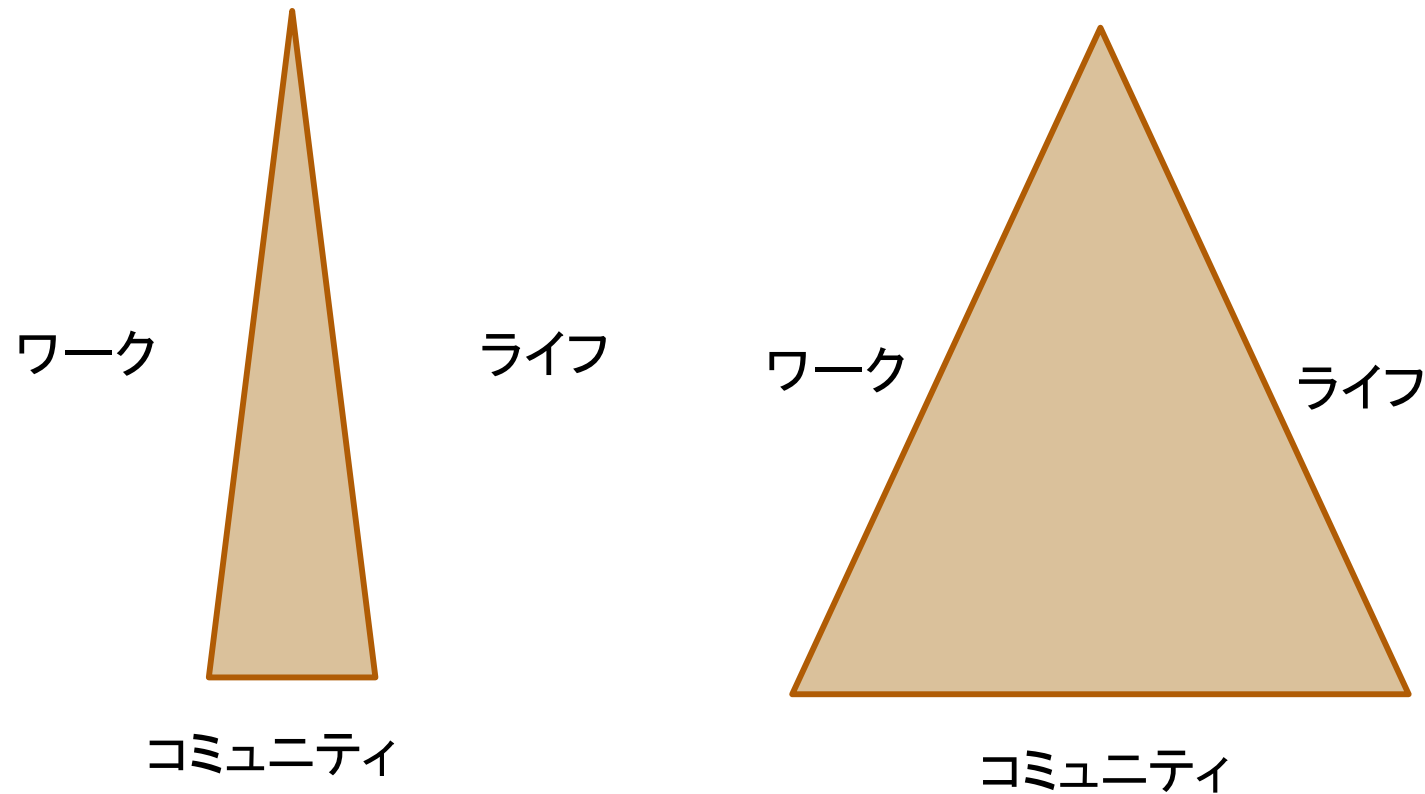


- 手弁当ではじめる。(数人からでも、いつからでも)
- 対等な立場で、要望の場ではないことを確認。
「切れ目ない支援」「外遊び」「働き方」官民まじえてもいあがる！
- 場所は行政が確保してくれるようになる。
- 終わると必ず懇親会
→政策にも反映されました。
→パートナーシップの醸成
→異動してきた担当者を巻き込む

私たちにも
役割がある！

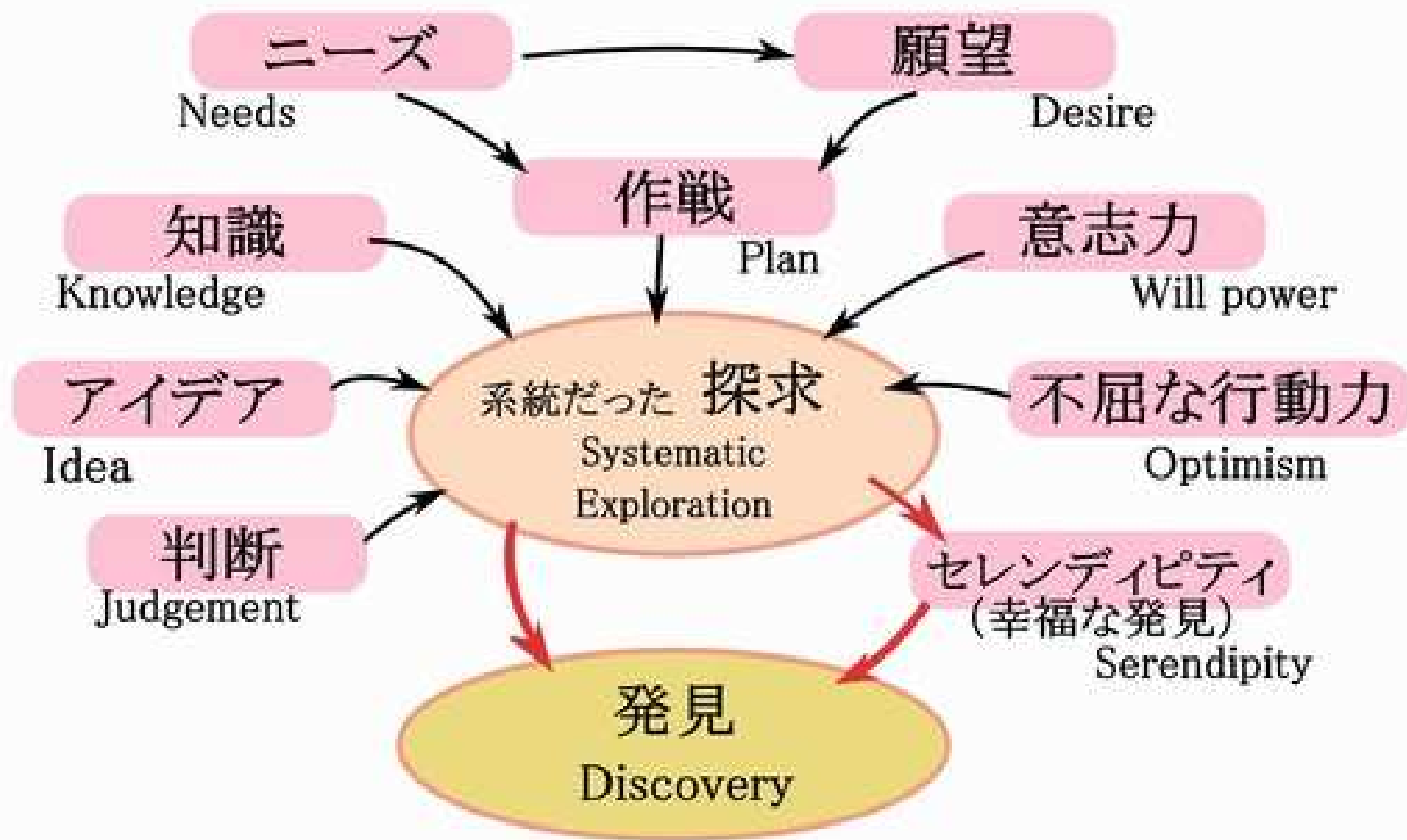


ワーク・ライフ・コミュニティバランスを！



子育てが始まる時期は「コミュニティ」の底辺をひろげやすい。
地域とつながるチャンス！

根岸博士 発見の10項目



系統だった探求の先に発見が。ニーズからはじまる。

赤ちゃんとのふれあい体験授業

現状：

初めての子どもが生まれる前に赤ちゃんの世話をしたことのない親が
4人のうち3人(横浜市・2013年)

目的：

自分の後に生まれてきた人への態度と責任
いつくしむ感じを味わう。赤ちゃんの成長発達のイメージを得る。
子育てする人生を送っている人との出会い

自分が生まれてきたことを
「根っこ」と捉えてほしい

子育て中の親に
地域での役割をつくる
「ティーンエイジャーに体験をプレゼント」

未来志向で。循環を生み出す



せたがやこどもフードパントリー

2020年4月14日から開始した「せたがやこどもフードパントリー」。多くの個人・団体・企業などからのご協力を得て活動。

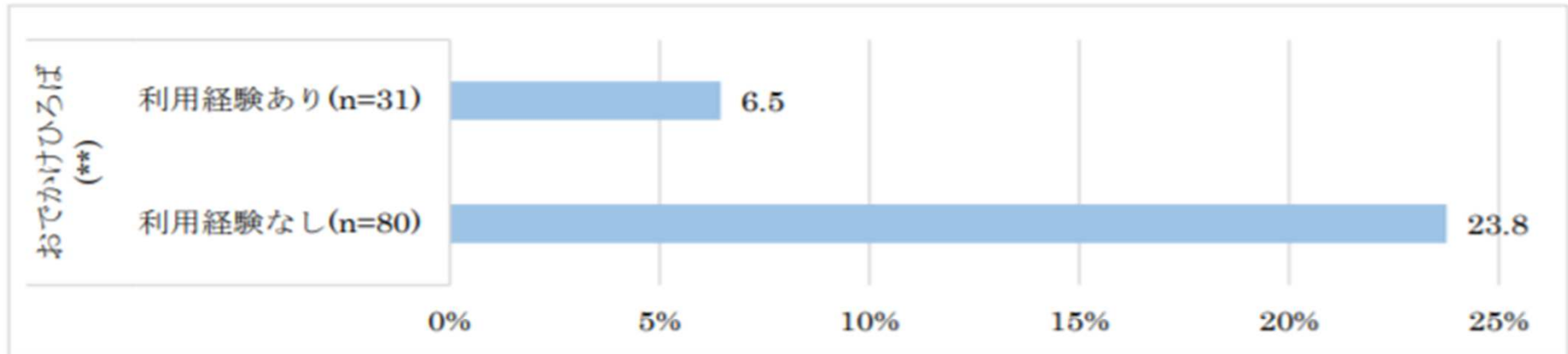
現在は妊娠中・未就学から高校生世代まで約200家庭360人の子どもたちが利用。

活動資金や食材を集めています！



困ってからつながりをつくるのではなく、 日常でつながっている必要性

図表 5-1-4-12 困ったときに相談できる相手がいない保護者の割合(小学5年生・中学生2年生合体、「生活困難層×ひとり親」のみ):子育て支援サービスの利用状況別



*「生活困難層×ひとり親」のみ集計。

*統計的に有意な差があるもののみ作表。

私的な人間関係ではなく、公的機関への子どもに関する相談の経験の有無についても子育て支援サービスの利用経験の有無による違いがあるかどうか見たところ、すべての支援サービスにおいて利用経験のない保護者のほうが、公的機関への相談経験のない者の割合が有意に高かった(図表 5-1-4-13)。特に、「おでかけひろば」を利用したことのない保護者においてその割合が最も高く、54.4%にのぼる。

まちも人も強みを見つけよう

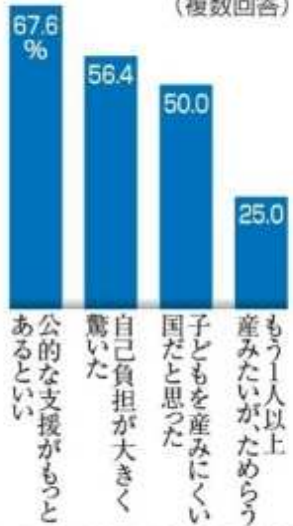


「2050超高齢社会
のコミュニティ構想」
(岩波書店)
第5章
「支援の受け手が
支え手にもなる
地域社会」

ちょっとした「ヒント」をつかみ
親子の関係や毎日の暮らしを
ダイナミックに変化させる力を
当事者は持っている。

声を集めて発信する

出産費用負担への感想
(複数回答)



※子どもと家族のための緊急提言プロジェクトの調査による

子育て支援策充実を訴える市民団体「子どもと家族のための緊急提言プロジェクト」は21日、出産費用に関する調査結果を発表し、9割超が、公的医療保険から支払われる出産育児一時金42万円より高かったと答

えた。出産費用を巡る感想を複数回答で尋ねると「公的支援がもっとあるといい」が67・6%で最も多かった。「負担が大きく驚いた」(56・4%)、「子どもを産みにくい国と思った」といっ

9割超一時金上回る 出産費民間団体調査

た回答も目立った。正常分娩(ぶんべん)は自由診療となっており、医療機関が費用を設定する。厚生労働省によると、年ごとに費用が上昇し、2019年度には、個室料などを除いて全国平均約46万円に達していた。市民団体の調査は18年以降に出産した人に4月15日、インターネットで実施。全国の1236人が答えた。出産費用が一時金を超えたとの回答は93・0%を占めた。金額は51万〜60万円が30・4%で最も多く、61万〜70万円が21・6%だった。

#出産一時金



asahi.com

42万円じゃ産めない...高額な出産費用一時金でまかなえたのは7%：朝日新聞...

Change.org #出産を無償に

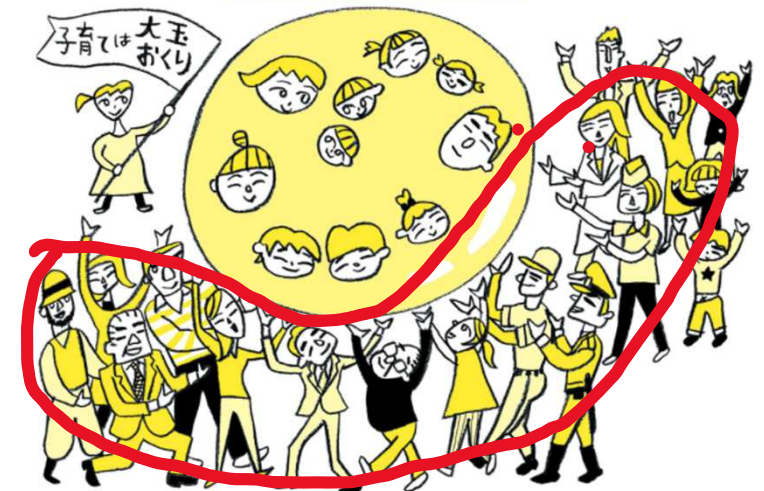
出産費が61万円超」の人がほぼ半数。高すぎて子どもを産めない国・ニッポン。出産を原則無料にしてください！

まちのネットワークの「キモ」は 中間支援機能

- **ぶりっじ機能**
誰かと誰かをつなぐ
ナニカとナニカをつなぐ
- **アジト機能**
自分をわかってくれる仲間
ナニカをたくらむ
- **トランポリン機能**
うっかりおっこちても、
受け止めてくれる
跳ねて、しかるべき場所へ戻れる

プレイヤーが
圧倒的に足りま
せん！！！！

意味あるオトナに
なろう！！！！



リバウンド を とり続ける

「地域とつながって子育て」・・・
具体的な手ごたえは少ないのでは

- 連携先につなげた「つもり」でも、うまくシュートできないことのほうが多い。もしもボールが跳ね返ったら、すかさずリバウンドをとる！

- うまくシュートし、ゴールを通過したボールでも、結局（地域に）落ちてくる。

その行く末まで見届けられるのも地域に拠点をもつ強み。